

2001年1月1日 元旦礼拝

司	会		井沢師
奏	楽		
賛	美	聖歌584	
使徒信条			
主の祈り			
賛	美	聖歌703(海と空つくられた主は)	
祈	禱		三畑兄
聖	書	ローマ4章16～18節	
音	楽	お琴とホルン重奏	宮田兄妹
メッセ	ー	ジ『21世紀への挑戦』	大川従道牧師
賛	美	明日はどんな日か(献金)	
祝	禱		

望み得ないのに、

なお望みつつ、信じた

(ロマ四の十八)

明けまして おめでとうございます

今年もどうぞよろしく。主の祝福をお祈りします。

2000年 元旦

主任牧師 大川従道

道子

伝道・牧会スタッフ一同

補教師 一同

責任役員会一同

☆明日は、朝11時から「新年信徒聖会」です。講師は名古屋から水野先生が来られます。ご期待ください。特賛は、SRシンガーズ。

☆今週こそ、ゆっくり、たっぷり聖書を読みましょう。宿題(祝大)に挑戦しましょう。

石の枕

明けましておめでとうございます。主に在りてご挨拶申し上げます。

まず、WEDGE1月号の「リーダーの研究」から引用します。

十年一昔というが、世の中はすっかり変わってしまった。80年代と90年代ではまるで様相がちがう。「仲良しクラブ」のような既成サークルに安住している、世の中の情報は4分の1しか取れないし、これに官僚情報を加えてみても、半分もいかないだろう。

いよいよ21世紀。さらに、こうした傾向は深まるだろう。言うまでもなく、リーダーが受け身の姿勢では、流動化する社会のトータル・イメージはとてつともつかみ切れない。激動する変化の時代をいかに乗り切るか。いわば「際のなくなる時代」では、視野を広くしなければならぬ。異業種、異分野との交流を積極的に進め、自分の専門以外の分野に対しても、一定の知識と理解が必要になってくる。

視野狭窄(きょうさく)に陥らぬこと——これがリーダーの大切な要件となる。「一芸に秀でれば、百芸が分かるぞ」と言われてきたが、現在では真実でなくなった。いまや、一芸に秀でただけでは、世の中のトレンドを正確に把握できない。筆者は「百芸を見ながら一芸に秀でよ」と言いたい。それが21世紀を迎えての実感である。

この欄を愛読して下さる方は、すでにお分かりでしょう。前述のことは、リーダーだけでなく、教会員全体で取り組むべきことであります。しかも、この教会に課せられていることであり、できそうな感じさえします。

今年は最高にすばらしい聖言葉が与えられた。何もかも、信じられない現実の中で、「望み得ないのに、なお望みて信じた」。これで邁進しましょう。